

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童1人に対し、指導員が1人マンツーマンでついている為、児童の1人のスペースを区切って支援を提供しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			関係法令に則った職員配置で行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関から室内、トイレに至るまで段差等なく、バリアフリー化されています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			研修・ミーティングを定期的開催し、学習する機会を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート以外に毎回の支援後に保護者様と児童の最近の様子や意見などをお話する時間を設けています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で内容を確認し、話し合い結果をホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者評価は行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間を通して発達支援研究所の研修を受け、定期的に事例検討会も行っています。また、外部研修にも参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にモニタリングを行い、お子様の情報を共有して、お子様1人、1人に合った支援計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			「きらり」で統一されたアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			継続した方がよい場合は継続し、お子様の成長や興味などに合わせて変えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その時の状況に応じてきめ細やかに、かつ柔軟に課題設定を行い、支援を行っています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成しているか	○			普段は、個別療育ですが、月1回行っている小集団のきらりひろばでは集団活動を経験しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の朝礼や終礼、支援前に打ち合わせや確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日の終礼やその日の記録で情報共有や確認を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の支援についての記録を残し、支援の様子を把握できるようにしています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低6ヶ月に1度、定期モニタリングを行い、情報共有、支援の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインを基に日々の活動プログラムと照らし合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童の発達や保護者様の事が分かる児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校をはじめ、様々な関係機関と連絡調整、情報共有、訪問と連携を密に取り行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、該当児童はいませんが医療機関と連携、連絡体制は整備されています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等に限らず、様々な関係機関と連携を密にし、情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			担当者会議を含め、しっかり情報共有を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各専門機関と情報共有を行っており、研修にも参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		小集団イベントの際は参加する時もあります。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			金沢市で開かれる自立支援協議会の方に積極的に参加し、地域の状況や取り組みについて意見交換等を行っています。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃から保護者様とお子様の状況をお話をして共通理解を持ち支援にあたっています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	事業所内においてペアレント・トレーニングは行っていませんが必要に応じて関係機関の紹介、社会資源等の情報提供を積極的に行っています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を行っています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の支援の際やモニタリングの際にご相談を受ける事があり、その都度助言を行い、支援をさせて頂いています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は、「ママカフェ」を行い、保護者様同士の交流の機会を設け、それぞれ保護者様が思っている事を話し合う事が出来ました。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			要望があった際はもちろん、事業所側からも必要に応じて提案や相談を行い、様々な情報提供を行っています。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログやインスタグラムを定期的に更新し、情報発信を行っています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫に保管し、事業所職員内での必要な情報共有であっても、共有方法に十分な配慮を行っています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			それぞれの特性に合わせた配慮を行い対応しています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			イベント案内を地域以外にも行っています。また、地区の子ども会や町会の行事にも参加するようにしています。
	非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っています。
㉜		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月に1回校舎内で虐待防止、身体拘束の研修を行い学習に取り組んでいます。また、内部、外部研修にも積極的に参加しています。
㉝		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			社内マニュアルにやむを得ない場合の対応は明示してありますが、現在、身体拘束を行う児童はいません。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	支援中に食べ物の提供を行っていません。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例を作成して職員全員で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」金沢横川校 保護者等数（児童数）：40 回収数：30 割合：
75.0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	6		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	6		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	10	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	25	5		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	25	5		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	14	14	あるのかが不明だが機会があっても参加した事がない。 →お子様の特性に合わせ、必要に応じて活動の機会を検討させていただきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	5	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	17	7	保護者会があるのかどうか分からない。 →今年度は、コロナが五類に移行した事により、数年ぶりに「ママカフェ」を開催し、保護者様交流を行わせて頂き、保護者様同士の連携のお手伝いをさせていただきました。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	15		対応に対する判断は、苦情を出した事がない為どちらともいえないとしています。 →苦情等がありましたら、管理者にお知らせ下さい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	3	1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	7	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	26	4		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	11	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	11	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	7	2	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	24	5	1	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。